社会福祉法人　愛心福祉会
障害者支援施設　愛心園

事業概要

～私たちは知的障害者支援を通して、一人ひとりの尊厳のある人生を支えるために、専門性を発揮し、みんなが住みよい社会づくりに努めます～

障害者支援施設　愛心園（施設入所定員50名・生活介護定員60名・短期入所定員8名）

生活介護　フレンズ（定員20名）

共同生活援助　うさぎとかめ（定員21名）

あいここ-あそびtoまなび（児童発達：定員10名、放課後デイ：定員10名

相談支援事業所こんぱす

ひょうご発達障害者支援センタークローバー上郡ブランチ

その他、委託事業あり

募集職種

・生活支援員（高卒以上、パート可）

勤務体系

日勤：9:30　～　18:15

早出：6:15　～　15:00

遅出：11:30　～　20:15

夜勤：14:45　～　翌9:45

当直（主としてｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ）：9:00　～　翌9:30

＊実労働時間7時間45分

＊勤務部署・シフトによって、30分程度勤務時間が前後することがあります

給与・諸手当

＜本　俸＞

大　卒：**233,700円**～

短大・専門学校卒：**228,700円**～

高　卒：**222,200円**～

処遇改善手当含む

中途採用の方、10年までの前歴換算あり

賞与：年3回（前年度実績4.2か月）

パート職員：1,220円～

＜諸手当＞

夜勤・当直手当：6,200円/回（当直5,200円）

資格手当：社会福祉士8,000円　介護福祉士5,000円等

通勤手当：24,400円/月まで　住宅手当：27,000円/月まで

その他、超過勤務手当、扶養手当等

休日

不定休・8～9日/月　年間104日（夏期特別休2日、年末年始特別休3日含む）

有給休暇　初年度10日（年次付与年間20日まで、年間最大40日、時間年休制度あり）

特別休（慶弔時等、育児・介護休業あり）

福利厚生

健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険、

退職金制度2本立て（福祉医療機構・県退職共済）

福利厚生センター（ソウェルクラブ加入）

兵庫県民間社会福祉施設職員互助会加入

職員会（研修補助、旅行補助、貸付金制度、各種祝金制度あり）

報奨規程（職員表彰・永年勤続祝金）

社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士等修学資金等貸付事業制度、奨学金返済支援制度

海外研修旅費助成制度あり

♦子育て支援…出産・育児休暇後の職場復帰多数
♠手厚い扶養手当…子供一人につき1万円、高校大学進学時には5千円加算。
♥修学資金等貸付事業…働きながら国家資格を取得する際に修学費用を貸し付けます。資格取得後、当法人で3年間勤務した際は、貸付金の返済を免除します。
♣当法人で10年勤務後、10万円支給か希望により海外研修旅費20万円の助成金があります。

お問い合わせ

障害者支援施設　愛心園

秋田正人（総務課長）　原田幸三（副園長）

☎0791-52-3959　fax0791-52-4167

E-mail：mailinfo@aishin-wel.or.jp

ホームページ：http://aishin-wel.or.jp

住所：678-1241

兵庫県赤穂郡上郡町山野里2749-35

障害者支援施設　愛心園
～知的障害者を支援するということ～

知的障害とは？

発達期（おおむね18歳未満）までに生じた知的機能の障害により、認知能力（理解・判断・思考・記憶・知覚）が全般的に遅れた水準にとどまっている状態のことです。

知的障害の分類…臨床的には、知能検査（幼児では発達検査）を行って、知能指数（IQ）が70以下（知能指数は18歳をIQ:100としてIQ＝精神年齢/生活年齢になります。IQ70は12歳程度の能力になります）の場合には知的障害とみなされます。

軽度… 知能指数が50～70（9歳から12歳の知的能力）程度の場合は軽度であり、本人や周りに障害と気が付かれずに日常生活を送れるレベル。※知的障害者の8割がこの指数内だと言われています。

中度…指数が35～50程度（6歳から9歳の知的能力）の場合は中度。

重度…指数が20～35程度（3歳から6歳の知的能力）の場合は合併症が見られることが多い。

最重度…指数が20以下（3歳以下の知的能力）の場合は、合併症が多く見られ、寝たきりの可能性もあります。…**愛心園の利用者は最重度の方が大半です。**

自閉スペクトラム症とは？

自閉スペクトラム症（ASD）は、社会性・コミュニケーション・想像力に特徴がみられる先天的な発達障害です。かつては知能指数により「アスペルガー症候群」や「カナー症候群」と分類されていましたが、現在は特性が連続的で個人差が大きいことから「スペクトラム」という概念で捉えられています。そのため、一人ひとりの特性を理解し、個別に応じた支援が重要です。

知的障害を持つ人との関わり方

1、分かりやすく伝える…言語の理解が苦手な可能性があるので、言葉だけでなく身振りや絵・写真等を交えて話しかけると伝わりやすくなります。

2、自信をつける…本人の能力以上のことを要求しないようにし、本人の得意なことや可能性を見極め、出来ることを増やしていき、自信が持てるようにしましょう。

3、適切なポイントでほめる…言語での意思疎通がスムーズにいかなくても、「感じる気持ち」は豊かなので、適切なポイントでほめていき、良いところを伸ばしていきながら成長を後押ししましょう。

4、あいまいな表現は使用しない…曖昧な言い方や表現は伝わりづらいので使用しないようにしましょう。嫌なことは「嫌だ」とはっきり伝えるようにしましょう。

愛心園が支援している方々

愛心園が支援している方々は、施設入所者・グループホーム入居者・自宅から通う方も含めて約80名です。入所者の最年少は20歳、最高齢は、80歳代後半となっており、幅広い世代の方々の支援を行っています。短期入所（一時預かり）では、子供も利用されることがあります。

愛心園が行っている主な事業

施設入所：利用者の方々が夜間・休日等生活しています。職員は、食事・入浴・更衣などの生活面での介助・支援や休日の余暇支援をします。

生活介護：利用者の昼間（平日）の活動（作業・余暇）の場です。利用者の方々が役割を持って仕事をし、日中活動が充実するように支援します。**愛心園とフレンズ**で生活介護を行っています。

共同生活援助：利用者の方々が少人数で生活するための家です。利用者が安心してゆったり過ごせるように支援します。3軒のグループホームがあります。

短期入所：家族が急用や利用者の方が家で暮らしにくい場合などに短期間入所施設で過ごすサービスです。愛心園で過ごされます。

相談支援：利用者、家族から障害に関わる相談を受け付けます。福祉サービスを利用する場合に計画を立てたり、会議の場を設けてそれぞれの意見を聞きながら、より良い生活が出来るよう検討します。その他、「発達障害者支援センター事業」「障害児等療育支援事業」「障害者等相談支援コーディネート事業」の委託を受けています。

少年補導委託事業：施設での介護や生活体験を通じて、人間関係の大切さや生活習慣などを学べるよう支援します。家庭裁判所と綿密な連携を取りながら、少年の更生、社会復帰への支援を行います。

その人の人生をより豊かに支援する仕事

重度の知的障害のある利用者の生活全般を支援する仕事であり、食事や排せつなどの支援や作業・余暇支援、相談対応など多岐にわたります。障害に関する専門知識だけでなく、支援者の社会経験も重要です。支援を通じて、利用者とともに自分自身の人生も豊かにしていくことを目指します。